

大学教育における生成 AI の活用に向けたチェックリスト 〔第 1 版〕

令和 5 年 7 月 1 8 日
一般社団法人日本私立大学連盟

I. 大学教育における生成 AI の活用について

近年、AI 技術は急速に進歩し、様々な分野で革新的な解決策を提供している。これら AI 技術の進歩は、今後一層加速することは必至で、大学教育にも大きな影響を及ぼすことが予想される。

日本私立大学連盟では、この進歩を大学教育に活用することにより、私立大学の特色ある教育をさらに進化させる契機になると考える。すなわち、大学教育において生成 AI の長短所、特性・特徴を見極めた上で、従来の教育手法にその長所を取り入れ、学修者の主体的学修を促す新たな教授法・学修法を開発するなど、教育の質の向上に向けた新たな可能性を探求すべきである。

しかしながら、生成 AI の活用にはいくつかの懸念事項も指摘されている。個人情報や機密情報の漏えいリスクや著作権侵害の危険性、さらには出力生成物の正誤、真偽に関する問題である。そのため、生成 AI の活用に取り組む際には、正の側面、負の側面の双方を十分踏まえた上で、加盟大学が自律的な運用を行うことが求められる。

以上の考えにより、日本私立大学連盟では、加盟大学が生成 AI を活用する際の留意事項をチェックリストとしてまとめた。加盟大学が生成 AI という新たなツールを適切に使い、私立大学の独自性、先進性ある教育をより進化させていくために、ぜひ活用していただきたい。

II. 大学教育における生成 AI の活用に向けたチェックリストの利用に当たって

- チェックリストでは、生成 AI を大学教育で活用するために検討すべき項目を「1. 全般」「2. 教育」「3. 環境・体制整備」の三つのカテゴリーに区分し、優先度の高い順に「第 1 ステップ：最優先事項」「第 2 ステップ：優先事項」として整理した。
- さらに、それぞれのカテゴリーについて【大学が組織的に検討すべき事項】と【教員が個々の工夫で検討すべき事項】を分けて提示した。
- 今回提示する第 1 版は、加盟大学にいち早く検討を開始してもらうことを一番の目的に作成した。そのため、チェックリストの項目は包括的なものから小項目まで区別することなく必要な項目を網羅した。
- 本チェックリストは、生成 AI の向き合い方の「あるべき姿」を強制するものではない。むしろ、各大学や教員に対して生成 AI についての検討を促すものであり、実際の運用については、各大学や教員の判断に委ねられる。また、大学や授業運営の状況に応じて項目を追加・削除するなど、カスタマイズして活用していただきたい。
- 生成 AI の技術は日々進歩しており、大学教育における活用の方法も変化している。そのため、本チェックリストも今後、柔軟に更新していく必要があると考えている。

Ⅲ. 大学教育における生成 AI の活用に向けたチェックリスト

※チェックリストの各項目は、各大学や教員に検討を促すことを目的に作成されたものであり、実際の運用については各大学や教員の判断、決定に委ねられるものである。

1. 全般

第1ステップ：最優先事項	第2ステップ：優先事項
生成 AI の基本的な情報、課題・問題点の周知 今後の活用に向けた準備	生成 AI についての理解の深化 生成 AI の活用
【大学が組織的に検討すべき事項】 <input type="checkbox"/> 生成 AI についての学内方針を示しているか <input type="checkbox"/> 学内方針に至った背景（考え方）を示しているか <input type="checkbox"/> 生成 AI についての特徴、基本的な性質や仕組みを示しているか <input type="checkbox"/> 生成 AI に入力した情報が AI の学習データとして使われる可能性があることの注意喚起をしているか <input type="checkbox"/> 生成 AI に個人情報や機密情報を入力することを禁じているか <input type="checkbox"/> 生成 AI に入力した情報及び出力した情報が著作権に抵触する恐れがあることの注意喚起をしているか <input type="checkbox"/> 生成 AI から出力された情報の情報源が示されず、また全てが正確とは限らないことの注意喚起をしているか	【大学が組織的に検討すべき事項】 <input type="checkbox"/> 学生に対して生成 AI の理解を深める情報リテラシー教育を行っているか <input type="checkbox"/> 教員に対して生成 AI の理解を深める FD を行っているか <input type="checkbox"/> 学生に対してより詳細な利用ガイドラインを作成しているか (例)・オプトイン〔申請すれば送信情報が取り込まれる〕やオプトアウト〔申請すれば送信情報が取り込まれない〕設定等) <input type="checkbox"/> 活用の対象とする生成 AI の種類を明示しているか。また、当該生成 AI の特徴や課題に即したガイドラインを作成しているか (例)・ChatGPT (OpenAI 社) ・BingAI (Microsoft 社) ・Bard (Google 社) ・Stable Diffusion (Stability AI 社) ・Midjourney (Discord 社) 等

2. 教育

(1) 成績評価

第1ステップ：最優先事項	第2ステップ：優先事項
生成 AI の基本的な情報、課題・問題点の周知 今後の活用に向けた準備	生成 AI についての理解の深化 生成 AI の活用
【大学が組織的に検討すべき事項】 <input type="checkbox"/> 学生に対して禁止する場面と活用できる場面を示しているか <input type="checkbox"/> 学生に対して生成 AI で作成したレポートや論文を自らが作成したとして提出することは不正行為であることを示しているか <input type="checkbox"/> 学生に対して禁止する場面で活用した場合の罰則を示しているか 【教員が個々の工夫で検討すべき事項】 <input type="checkbox"/> レポートや論文の審査に関しては、生成 AI が利用される可能性を十分認識した上で、様々な方法を組み合わせるなど、評価方法を工夫しているか	【教員が個々の工夫で検討すべき事項】 <input type="checkbox"/> 生成 AI に対応できる評価方法を検討しているか (例)・使用禁止 ・利用範囲の明確化 ・生成 AI では回答できないよう工夫した試験問題の作成 ・対面でレポートや試験の実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション、口頭試問の実施 ・議論の内容を基に評価 等 <input type="checkbox"/> レポートや試験の結果のみならず、LMS を活用した学習履歴等によるプロセス評価を検討しているか
--	--

(2) 授業運営

第1ステップ：最優先事項	第2ステップ：優先事項
生成 AI の基本的な情報、課題・問題点の周知 今後の活用に向けた準備	生成 AI についての理解の深化 生成 AI の活用
【大学が組織的に検討すべき事項】 <input type="checkbox"/> 学生に対して大学で学ぶことの意義を伝えているか <input type="checkbox"/> 学生に対して生成 AI の出力をレポート等の解答にそのまま利用することは学力向上につながらないことを伝えているか	【大学が組織的に検討すべき事項】 <input type="checkbox"/> 生成 AI に関する指針やガイドラインを必要に応じて適宜見直しているか
【教員が個々の工夫で検討すべき事項】 <input type="checkbox"/> 学生に対して利用場面や利用方法を明確に指示・説明しているか <input type="checkbox"/> 生成 AI について授業などで理解を図っているか	【教員が個々の工夫で検討すべき事項】 <input type="checkbox"/> 生成 AI の利用についてシラバスに記載しているか <input type="checkbox"/> 学生の学修への活用を検討しているか (例)・個別チューターの役割 <ul style="list-style-type: none"> ・生成 AI によるフィードバック ・個々の能力に応じた個別の教材の開発 等 <input type="checkbox"/> 生成 AI の活用により、学生の情報活用能力の醸成をしているか <input type="checkbox"/> 授業内で生成 AI を活用し、学生の学ぶ能力を向上させる工夫をしているか

3. 環境・体制整備

第1ステップ：最優先事項	第2ステップ：優先事項
生成 AI の基本的な情報、課題・問題点の周知 今後の活用に向けた準備	生成 AI についての理解の深化 生成 AI の活用
【大学が組織的に検討すべき事項】 <input type="checkbox"/> 生成 AI について継続的に検討する体制を整備しているか	【大学が組織的に検討すべき事項】 <input type="checkbox"/> 実態調査等により学生の生成 AI の利用環境や状況を把握及び配慮しているか

IV. より高次の活用に向けた今後の課題

生成 AI の活用については、技術の進捗や社会への浸透状況などから今後も様々な課題が出現することが想定される。また、大学ではより高次の生成 AI の活用に向け、例えば以下のような検討を加えることが考えられる。

【大学が組織的に検討すべき事項】

- 生成 AI が作成した文章・画像等を検知するプログラムの開発・導入
- 国内や海外の大学の先行事例収集と学内への周知
- 教員や学生が生成 AI に関するサポートを受けられる体制の整備
- 教員や学生からガイドラインの改善に対する意見や提案を受け付ける体制の整備

【教員が個々の工夫で検討すべき事項】

- シラバスの作成への活用
- 課題作成への活用
- 教材作成への活用
- 試験問題作成への活用
- 国内や海外の大学の生成 AI を活用した授業の先行事例を参考にした授業設計

以 上